

主題名 「2つの教材から考える『よりよい生き方』とは」(第5学年 A-1 善悪の判断、自律、自由と責任 A-2 正直、誠実)

■本事例のポイント

1. クラウド環境を整えることで、児童がお互いの学習状況を把握し、自ら進んで友達と意見交流を行えるようにした。
2. オンラインホワイトボードを活用し、他者参照を通じた多面的・多角的な学びの実現を目指した。

■ユニット学習の目標

2つの教材を用いて「よりよい生き方」について多面的・多角的に考えを深める活動を通して、正直な心の大切さや自らの信念に従って自律的に判断し、実行することの大切さについて理解を深め、自分自身にとってのよりよい生き方について様々な視点から追求していくとする態度を育てる。

* ユニット学習・・・テーマに基づいた複数の価値を関連付けて、複数時間で小単元化して構成する授業方法

■ユニット学習の指導計画(2時間)

第1時

「うばわれた自由」

- ・「本当の自由」について自分の考えをもち、友達との意見交流を通して考えを深める。

第2時

「手品師」

- ・「誠実な生き方」について自分の考えをもち、友達と意見交流をしながら考えを深める。
- ・単元の目標である「よりよい生き方」について、2時間の学習で扱った「本当の自由」と「誠実な生き方」を踏まえて、自分の考えをまとめる。

■本時の概要

学習課題: 誠実な生き方について考えよう。

- ①教材を読み、学習課題である「**誠実な生き方**」に関わる「**問い**」を自分自身で考える。

- ②「**問い**」に対する考えをオンラインホワイトボードにまとめた児童から、自主的に友達と意見交流を始める。

- ③友達との意見交流で学んだことをオンラインホワイトボードにメモする。

- ④本時のまとめ・2時間のまとめを入力し終えた児童から、自主的に友達と意見交流を始める。

オンラインホワイトボードの一部

The screenshot shows a digital workspace for a lesson. At the top, there's a header with the title '誠実な生き方について考えよう' (Thinking about honest living). Below it, there are sections for '学習課題' (Learning Task) and '目標ラング' (Goal Language). The main area is divided into two columns. The left column is titled '自分の問い' (My Question) and contains a list of questions related to honesty. The right column is titled '友達の問い' (Friend's Question) and contains a list of questions related to honesty. At the bottom, there are two boxes labeled '自分のまとめ' (My Summary) and '友達のまとめ' (Friend's Summary), each with a list of points.

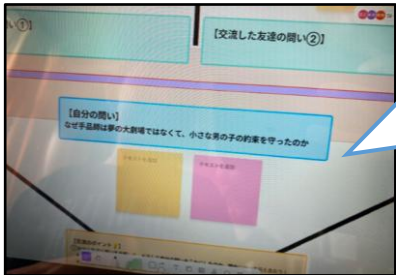
オンラインホワイトボード上には、児童一人ひとりの考えの他に、**学習の流れ・ループ** リック・「問い」をもつためのヒント・その他資料へのリンクが用意されています。




■ 学習調整をしている子供の姿

子供が学び方を選択・決定する場面の設定

自分の問い	学習形態
なぜ手品師は自分の夢よりも人の笑顔を選んだのだろう	一人で学習しています
なぜ手品師は夢だった大劇場を選ぶに、小さな男の子の約束を選んだのだろう	一人で学習しています
なぜ手品師は男の子の約束と、大劇場の約束を選んだのだろう	一人で学習しています
なぜ大劇場のチャンスがあったのに一人の男の子のために、チャンスを逃したのか	一人で学習しています
電話がかかってきたときどのようなことを考えたか	一人で学習しています
なぜ手品師は悪い、逃したのだろう。	一人で学習しています
どうして、自分の幸せより、男の子の幸せを優先したのだろう	一人で学習しています
なぜ手品師は大劇場に出られるチャンスだったのに選んだのか	一人で学習しています
なぜ手品師は、重大なチャンスと題するに男の子の約束を守ったのだろう	友達と考えを交流したいです






意見交流の場でお互いの「問い」に答え合うことで、学習課題について**多面的・多角的**な視点に立ちながら、議論を通して考えを深めることができます。

子供が自らの学習を振り返る場面の設定

★「よりよい生き方」とはどんな生き方だろう？	★「2時間の学習を生かしてもう一度「よりよい生き方」について考えてみよう！
自分が納得できるような生き方で生きられたいと思う	わたしは、よりよい生き方とは★自分が納得できるような生き方で生きることだと思います。 ①「うばわれた自由」では、「本の自由」とは、★TPOを守りながら、周りを見て自由に行動することを学びました。 ②「手品師」では、「約束」に生かすとは、★約束に照らし、相手と向き合いたいことと学びました。 これからは、★TPOを守り、周囲を見て結果に生きていきたいです。理由は、★TPOを守ることによって周りに迷惑がかかることになり、自分に向き合っているという感覚が湧いてくるからです。
①「うばわれた自由」 なぜジェラルド王は選んだのだろう	②手品師 なぜ手品師は夢だった大劇場を選ぶに、小さな男の子の約束を選んだのだろう
今日は「うばわれた自由」について学習しました。私が思う本当の自由は約束を守り、周りを考えて自由に行動することだと思います。どうしてかという点で考えると、ジェラルド王のように一人が選んでしまうことでみんなの自由も奪われてしまうことだと思います。自分の問いは「ジェラルド王はなぜ約束を守ったのだろう」として、その問いについて私は、グループで話し合い、ジェラルド王はさかずに勝手に行動をしてしまったことでジェラルド王、家来、国の人たちとみんなの勝手な行動をしてしまい、君、ガリウの話を聞いたことがあったらみんなが納得がいかないかという問いが湧いてきたと思います。	私なりの約束な生き方は「約束に照らし、相手と向き合いたいこと」と私は思います。今日は手品師について勉強しました。私の問いは「なぜ手品師は夢だった大劇場を選ぶに、小さな男の子の約束を選んだのだろう」という問いでした。この問いについて私は父兄さんだけでなく、お母さんや先生で調べてくれたり中継した小道具の先生から教えてもらって、約束を守ることの大切さを学びました。それについて私は「約束は守るべきだが、約束を守ることで自分自身を犠牲にする必要はない」という考えが湧いてきました。
★「よりよい生き方」とはどんな生き方だろう？	★「2時間の学習を生かしてもう一度「よりよい生き方」について考えてみよう！
	わたしは、よりよい生き方とは★自分自身をちゃんと守ることができることだと思います。 ①「うばわれた自由」では、「本の自由」とは、★約束のルールやマナーを守り自分ができることを自由にするということです。



二つの題材で学んだことを基に「よりよい生き方」に対する自分の考えをまとめることで、2時間の学習を通じた考えの深まりを確認することができます。

■ 指導と評価の工夫

① 個々の学習状況を大型モニター上で共有

- ＊ 児童は、「一人で・友達と・先生と」から自分に合った学習形態を選択し、課題に取り組むことができる。
- ＊ 考えがまとまった児童は、学習形態を「友達と考えを交流したい」に変更し、意見交流の相手を容易に見付けることができる。
- ＊ 教師はモニターで状況を把握し、必要に応じた支援ができる。

② 他者参照を通して議論を活性化

- ＊ モニターやオンラインホワイトボードで、友達の「問い」や、学習状況を確認し、目的に応じた意見交流の相手を探すことができる。
- ＊ お互いの「問い」に答え合うことで、学習課題について多面的・多角的に考えることができる。

③ 2時間の学習のまとめをポートフォリオ化

- ＊ 学習前後の考えと、各時間の「問い」とまとめを一覧表示するポートフォリオを活用することで児童の変容を見取ることができる。
- ＊ 友達のポートフォリオを参照して気になった点を基に、自主的に意見交流をすることができる。

■ 成果（○）と課題（▲）

- クラウド環境を整えたことで、全ての児童が自分の考えをもち、自主的に友達と意見交流を行うことができた。
- 2時間の学習の成果をポートフォリオ化したことで、自分の学びを振り返りながらまとめを入力することができたため、考えを深めた児童が多かった。
- ▲ 教師のつくった型に沿って学習を進めることが多かったため、児童に委ねる場面を少しずつ増やし、子供主体の授業づくりを目指す。